

研修 評価

研修名	行動変容を引き出すコミュニケーション				
領 域	臨床実践能力 (意思決定を支える力)	会場	新潟県看護研修 センター	受講料	会員 3080 円 非会員 9240 円
対 象	習熟段階Ⅰ～Ⅳ 募集数(80名) 応募数(46人) 参加数(42名) 会員数(39名) 非会員数(3名)				
日 時	令和7年9月29日(月) 10:00～16:00				
ねらい(目標)	患者の行動変容を引き出すコミュニケーションスキルを学び、臨床現場で実践できる				
講 師	菅家 智史 福島県立医科大学医学部(臨床医学系) 地域・家庭医療学講座講師				
内容・方法	○講義内容 ・行動変容とは ・行動変容ステージ別のスキル ・患者の思いを引き出す質問スキル ・共感と是認のスキル ○演習 ・演習: ロールプレイ(患者・医療者)、GW				
結果・評価 (受講者の意見感想含む)	○参加者数 42名 53% 【達成・ 未達成 】 ○アンケート結果(回収率83%) ・理解度 100% 【 達成 ・未達成】 ・自己課題の達成度 100% 【 達成 ・未達成】 ○受講者の意見 ・相手の気持ちを引き出すためのテクニックを学ぶことができた。行動変容について理解が深まり、変容ステージにあった対応をロールプレイで学ぶことができた。 ・自分の価値観で相手を判断しないということがとても大切だと思った。正したいという気持ちをどう抑えていくか、今後の仕事や子育てにも役立つ研修であった。				
企画の評価	○目標達成の評価: 【研修会の目標は達成した・達成しなかった】 ・テーマ・目標・企画内容・時間配分など: 適切だった。 ・アンケート結果: 肯定的な意見が聞かれ、達成度、満足度とも高評価であった。 ○研修の準備など: 当日欠席者がおり、グループ内人数が3名となった。そのため、ロールプレイでは、隣のグループを巻き込むなど調整し、演習を行うことができた。 ・通信環境の影響で、アンケートや退席QRコードの読み込みができない受講者が数名いた。 ○総括: アンケートより整合性100%から妥当であった。プログラムの妥当性は研修評価達成から妥当であった。				
課題	○特になし				
担当者	教育委員				